

新年ご挨拶



一般財団法人大原記念財団 理事長 平子 健

新年明けましておめでとうございます。

先生がたに支えられ新大原総合病院は1周年を迎えることが出来ました。

ほんとうに有難うございました。心から感謝申し上げます。

昨年1年間は医師はじめ職員の努力により、患者さんの受け入れ対応を一生懸命努力してまいりました。

その結果、先生方をはじめ患者さんに信頼される病院になって参りました。

今年こそその成果を発揮すべく頑張りますので一層のご支援ご協力を賜れば誠に有難くお願い申し上げます。

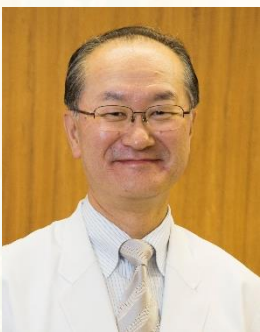
昨年は新病院開院、医療センター回復期病院構築など財団の将来構想の基盤を決める重要な年でありました。

おかげさまで将来構想に向かっての第1歩を踏み出すことが出来ました。

これからは先生方と大原記念財団の全施設連携強化が将来を決めます。

大原記念財団は地域連携意識を強く持ち先生方とともに福島健康を推進してまいりたいと思います。

最後になりましたが、先生方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



一般財団法人大原記念財団 副理事長兼統括院長 佐藤 勝彦

新年おめでとうございます。

新病院が開院して早くも1年経ちました。ご支援頂きました皆様のご厚誼に対し心より御礼申し上げます。新病院建設という夢が実現、全てが一新されて患者の療養環境が改善しただけでなく、職員は最新の病院で働ける幸せを感じながら診療にあたっています。

昨年は、当院に対する期待を実感する年でもありました。各方面からのご支援で医療機器の整備がすすみ診療パフォーマンスは格段に向上しました。ホールクロック、絵画や書、グランドピアノなどの寄贈も相次ぎました。レストラン兼大会議室では、毎月のように国内外から演奏者が来院して患者向けに院内コンサートが開催されました。上町テラスにある大原ホールは、健康講座やイベントが開催され、多数の市民であふれかえりました。患者だけでなく多くの市民が集まりかつての中心市街地の賑わいが少しでも戻ることを願っています。

これからは人生100年時代と個人で情報端末を持つ時代、それに則した医療が求められます。私たち大原総合病院は、大原医療センター、清水病院、訪問看護ともども結集して、市民の命と健康を守るという使命を果たすべく、次の夢の実現にむけて取り組んでまいります。

第 20 回フォーラム 「医療の改善活動」全国大会 in 北九州に参加しました



平成 30 年 11 月 16 日(金)～17 日(土)において、福岡県北九州市で開催された第 20 回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 北九州に、当院の第 6 回 TQM 発表大会で最優秀賞を受賞した「早く帰りたい!!早く受け入れ隊!!～回復期リハビリテーション病棟における入退院支援の取り組み～」メンバーが参加し発表を行いました。大原医療センター看護師、セラピスト、薬剤師、医療ソーシャルワーカーが参加し、



— Information —

福島県美術家連盟会長などをつとめる福島市在住の日本画家・齋藤勝正先生より、大原総合病院新病院棟開院 1 周年を記念して「叢粧-転生」(そうしょう - てんせい)と「希望の朝(復興の川で)」の 2 作品をご寄贈いただきました。



「叢粧-転生」は院展入選作品で、河原に自生するヨモギの萌え出る若芽、その側でそっと枯れゆくヨモギの色も粧う姿に映る、いのちの彩りと力強さが描かれています。

「希望の朝」は個展開催時に仕上げた新作で、朝の光が阿武隈川の川面に差して、投網をする漁師とともに黄金色に輝く風景を切り取った、震災復興への祈りが込められた作品です。

「叢粧-転生」は 5 階第 1 会議室、「希望の朝」は 1 階メイン廊下に展示しております。ご来院の際にはぜひご覧ください。

大原記念財団の理念

人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一步先行く医療を探求し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制作 大原総合病院 総合患者支援センター

発行者 一般財団法人大原記念財団

理事長 平子 健

電話 024(526)0371 ダイヤルイン

FAX 024(526)0935

代表 024(526)0300

住所 福島市上町 6 番 1 号

大原記念財団職員行動規範 10 カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しきことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。